

令和元年度 水産研究課試験研究課題一覧

No	品目	研究課題名	研究内容	研究期間	担当
1	スジアオノリ	気候変動打ち克つスジアオノリ安定生産技術の開発	猛暑、集中豪雨など気候変動による環境変化に対応するため、高水温、低塩分に強い品種を選抜する。また、天然採苗の安定化技術を開発することにより安定生産を図る。	R1～3	環境増養殖
2	ワカメ	色調に優れたワカメ新品種開発	栄養塩不足による「色落ち被害」に対応するため、色落ちに強い品種を選抜することにより安定生産、品質向上を図る。	R1～3	環境増養殖
3	ワカメ、ヒジキ	とくしまの海藻増産事業	天然わかめ、ひじき等の十分利用の進んでいない天然海藻資源については有効活用を促進することにより、漁業者の新たな収入源を創出する。	H25～	環境増養殖
4	アワビ	ワカメ養殖を活用したアワビ資源増大事業	気候変動による高水温化により、アワビの餌となる海藻資源が減少し、県南の重要水産物であるアワビ資源に大きな影響を与えている。このため、地元と連携し、親貝の保護区を設定するとともに、保護区設定水面においてワカメ養殖を行うことによりアワビ餌料を供給しアワビ資源の維持増大を図る。	R1～	海洋生産技術
5	鳴門わかめ、養殖スジアオノリ、加ノリ、ウバアノリ、藻場	増養殖技術研究	養殖漁業等の振興を図るため、海藻類の増養殖技術研究及び養殖漁場環境の調査を行う。	H12～	環境増養殖、海洋生産技術
6	未利用資源	六次産業化を推進する水産加工品開発・品質管理の支援	新たな加工法による商品化の支援、活魚、鮮魚、加工品のそれぞれの付加価値の向上で六次産業化を推進する。加工法の開発により、これまでそもそも漁獲対象でなかったり非常に低い価格で取引されていたりした魚の換金価値が向上する。	H29～R1	海洋生産技術
7		資源管理に必要な情報提供事業	新漁業管理体制下での適切な操業支援、調査体制の整備を図るため、沿岸域における漁海況情報の収集・分析・提供を行うとともに、地域レベルでの情報の提供を行う。	H9～	海洋生産技術
8		病害対策研究	魚介類の感染症等による病害の原因究明、診断及び予防・治療法を確立する。	H12～	海洋生産技術
9		漁場環境保全対策調査研究	養殖漁場における水質及び底質の推移を把握し、その結果を基に適正な漁場利用を促進する。	S54～	環境増養殖
10		赤潮対策技術開発試験費	播磨灘における赤潮被害を防止するため、近隣県と共同で有害プランクトンの出現動向等を調査する。	H11～	環境増養殖
11		漁場環境監視等強化対策事業	赤潮、貝毒の被害防止対策を実施する。	S54～	環境増養殖
12		水産基盤整備調査事業	水産基盤整備事業による藻場、増殖礁の事前・事後調査を実施する。	継続	海洋生産技術
13	鳴門わかめ、クロノリ	栄養塩からみた漁場生産力回復手法の開発	紀伊水道西部及び周辺海域のノリ・ワカメ養殖場における海水中の栄養塩濃度等の現場観測を行うとともに、施肥剤による生産力回復手法を開発する。	H30～R3	環境増養殖
14	藻場	ドローン空撮画像解析による藻場等の分布把握技術開発	海用ドローンシステムで空撮したマルチスペクトル画像の解析結果から算出した色調と、藻場実態調査による被度、現存量データを比較することで、ガラモ場、アラメ・カジメ場等の判別、藻場の種別分布把握が低コスト、短時間でできる画像解析処理技術を開発する。	H29～R1	海洋生産技術
15	IoT・AI	IoT・AIを活用した「リアルタイム水質情報配信・予測ネットワーク」の構築	IoTを活用し、水温・塩分のデータをリアルタイムで漁業者に情報提供しているが、測定ポイントを増やすことにより、より効果的・効率的な操業に資する。また、気候変動による急激な水温変動に対応するため、AIを活用し水温の予測技術を開発する。	R1～2	環境増養殖

令和元年度 水産研究課試験研究課題一覧

No	品目	研究課題名	研究内容	研究期間	担当
16	ワカメ	ワカメ種苗生産の安定化技術開発「フリー配偶体の活用とサポート技術によるワカメ養殖のレジリエンス強化と生産性革命」	気候変動にともなう高水温化，集中豪雨により，ワカメ養殖の種苗生産の不調，生育不良，食害が発生し，生産量が減少している。このため，フリー配偶体を活用した種苗生産技術，種網の保存技術，食害対策技術を開発し，生産量の安定、増産を図る。	H30～R2	海洋生産技術 環境増養殖
17	藻場，イセエビ	藻場回復・保全技術の高度化検討調査「捕食者を利用した藻場回復手法の検討」	ウニによる磯焼け域において，イセエビが一定密度で生息する増殖礁の周辺で栄養カスケード効果により藻場が維持されることを複数の海域で検証する。	H30～R2	海洋生産技術
18	浮魚，底魚類	漁業資源対策研究	小型底びき網，延縄，パッチ網等の機船漁業で漁獲される浮魚と底魚について，主要漁協の漁獲統計調査や漁獲実態調査により，漁業資源の動態をモニタリングする。	H13～	海洋生産技術
19	アユ	河川生産力有効利用調査研究	吉野川におけるアユの資源量調査の実施により，河川資源の有効利用に資する。	H2～	環境増養殖
20	いわし類，アジ類，サバ類等、計15種	水産資源調査・評価推進委託事業	ABC（生物学的許容漁獲量）の決定と対象魚類の資源状態の把握を目的として，県内主要漁協における漁獲量やそのサイズを調査する。加えて，海洋観測を実施して卵稚仔を採集するとともに水温、塩分等の情報を得る。	H10～	海洋生産技術
21	浮魚，底魚類	「資源回復計画推進事業」主要漁業種に関する調査研究	県内の主要な漁業種類の操業実態と重要魚種の資源動向を把握して自主的な資源管理の取り組みについて効果・影響等を解析する。	H17～	海洋生産技術
22		漁獲管理情報処理システム整備事業	漁獲情報を収集するためのシステム維持管理	継続	海洋生産技術
23		公共用水域水質調査	水質汚濁防止法に基づき，海部沿岸海域の水質を調査し汚濁状況を周年監視する。	H27～	海洋生産技術
24		魚類防疫体制整備事業	魚病の発生・伝播の防止、被害の軽減を図るための検査の実施、魚病発生時の防疫対策等をおこなう。また、養殖生産物の安全確保のため、医薬品の適正使用指導、医薬品の残留検査を実施する。	継続	海洋生産技術
25		鳴門わかめブランド力強化事業_ワカメ未利用部有効活用試験	わかめ養殖現場で発生するメカブ等の未利用部（残渣）を試験的にアワビ等磯根資源の餌として供給、モニタリングし、当該残渣が廃棄物ではなく有価物として機能することを証明する。	R1	海洋生産技術
26	カワバタモロコ	カワバタモロコ種苗生産試験	絶滅危惧種であるコイ科の淡水魚・カワバタモロコの保護及び増殖を目的とした種苗生産を実施する。	H19～	環境増養殖